

逗子市公共下水道事業経営戦略 概要版

計画期間：2021(令和3)年度～2030(令和12)年度

文中 P* は経営戦略本編のページ数を示します。

下水道は、重要な社会インフラです！ P2

- ◎都市の健全な発達、公衆衛生の向上に寄与 →まちがきれいになります
- ◎公共用水域の水質保全に資する →海や川がきれいになります
- ◎下水道施設が止まってしまうと普段の生活ができなくなってしまう

保有する施設の老朽化に伴う更新時期の到来や、人口減少等に伴う使用料収入の減少等が予測される中で、将来にわたって安定的にサービスの提供を継続することが可能となるよう、経営の基本方針である「経営戦略」を策定し、これに基づく経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組めます。 P2



海の風景と、逗子海岸の東浜に建立されている石原慎太郎氏の芥川賞受賞作「太陽の季節」の記念碑をデザインし、2020(令和2)年8月17日に採用した新デザインマンホールです。

逗子市公共下水道の歴史 P1

- 1963(昭和38)年度 都市下水路事業により雨水整備を開始
- 1966(昭和41)年度 公共下水道事業に着手
- 1972(昭和47)年度 公共下水道の供用を開始
- 2002(平成14)年度末 処理人口普及率 100%達成

現在まで県内唯一



水路に生活雑排水が流れ込み、悪臭や害虫が発生していました

下水道整備により・・・



道がきれいに舗装され、生活環境が改善しました

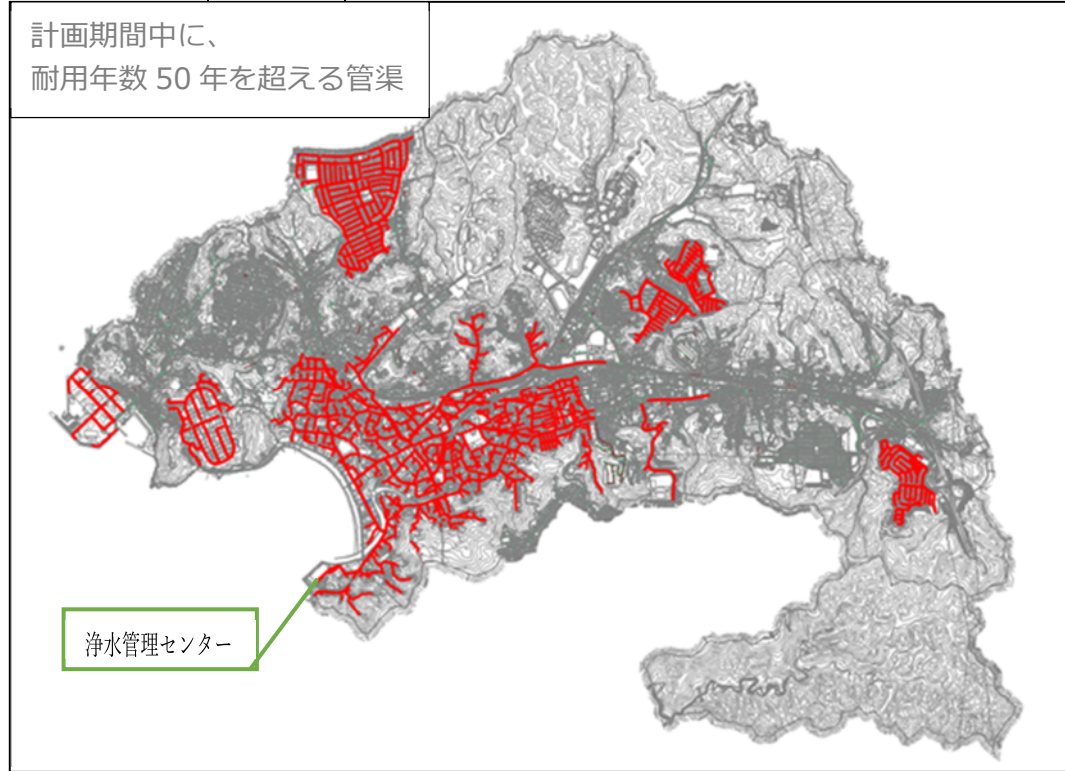
下水道事業の現状 P1,5,10

下水道は生活になくてはならない大切な存在です。皆さんの生活を守るため、市では保有施設（管路、浄水管理センター、ポンプ場）の維持管理を行ってまいりましたが、**下水道事業への着手が早かったため、施設の老朽化**が進んでいるという現状があります。さらに、**下水道使用料が県内近隣他市町と比較して低く、本来使用料収入で負担すべき経費の一部を市の一般会計（税金）で補っている**という現状に加え、会計制度の変更に伴い減価償却費などの現金を伴わない収支を計上することとなったことにより、2019(令和元)年度下水道事業会計決算では**赤字**となっています。このため、適切な維持管理と経営改善が必要となっています。

今後の課題

「老朽化対策」P12,15~19

計画期間中に、耐用年数 50 年を超える管渠



「赤字解消」P6,10~15

今後の推移として、人口減少や節水機器の普及により、水の使用が減少し、それに伴って**使用料収入も減少する見込み**です。また、老朽化に伴う改築・更新にかかる維持管理費や再整備などに要する費用も増加する見込みです。

下水道使用料を近隣市町と比較して・・・
(1ヶ月あたり 20 m³・税込の場合)

〇返子市	<2005(H17)>	1,793 円
〇横須賀市	<2014(H26)>	2,443 円
〇鎌倉市	<2012(H24)>	2,302 円
〇三浦市	<2015(H27)>	2,921 円
〇葉山町	<1998(H10)>	2,244 円
< >は改定年		

赤字が累積した状態では突発的な修繕等に対応できません。

下水道事業の経営改善を図るため、適切な財源確保に努める必要があります。

シミュレーション P13~15 を基に、この経営戦略では、次の理由で **2022(令和4)年度に使用料単価を124円と設定することを想定**して、投資・財政計画に反映しています。

〇2022(令和4)年度以降**単年度決算は黒字**

〇累積欠損金が減少し、**2029(令和11)年度から利益剰余金が発生する見込み**

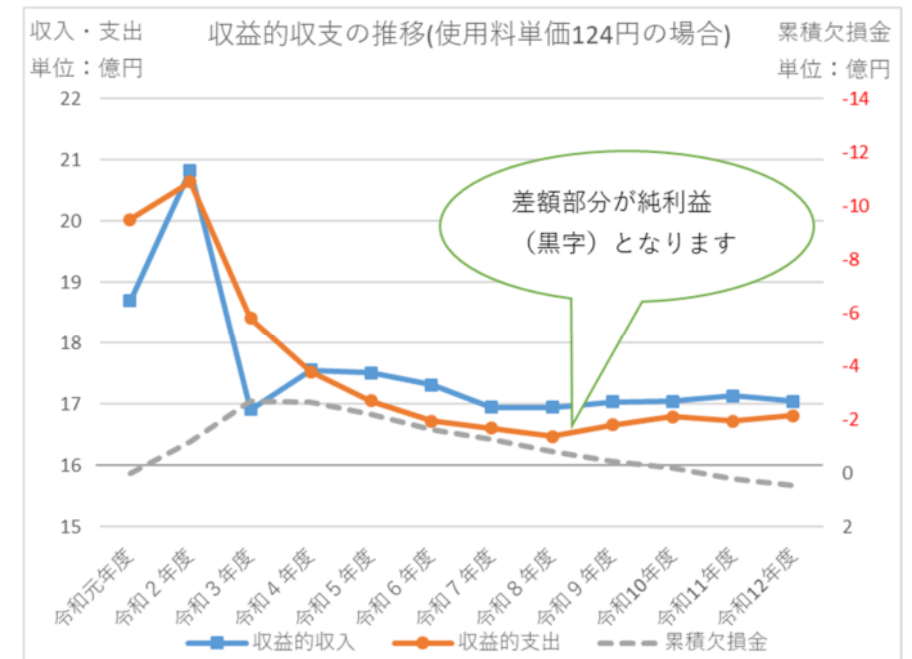
突発的な修繕等に対応できるだけでなく、将来の施設更新に向けた資金の準備することができるなど健全な経営を行えるようになります。

上の図は、2030(令和12)年度までに耐用年数である50年を超える予定の管渠（下水道管）を赤く色づけしたものです。現在までは、保有施設の大半が耐用年数以内であったため、想定外の大規模な修繕等は少なく維持管理を行ってまいりました。これからは、今までの維持管理に加え、**耐用年数を超える施設の修繕等についても対応が必要**となります。

「地震対策」P21

地震被害による機能停止を防止するため、保有施設の耐震化を進めます。

老朽化の対策をとらないと・・・
下水道管の破損等により流下機能が低下し、最悪の場合、修繕のために**下水道が使用できなくなる**ことがあります。



今後予定している主な事業 P18~22,32~33

事業	概要	計画期間内の合計金額(概算)
管路、処理場の長寿命化対策	詳細点検・調査を実施し策定した、ストックマネジメント計画に基づき、改築・更新工事を行っていきます。	104億4千万円
地震対策	管路の耐震化、マンホールトイレシステムの整備、ポンプ場及び処理場の耐震化を行っていきます。	28億9千万円
合流改善対策	雨天時に合流区域からの越流水による公共用水域の汚濁負荷を低減させるため、分流化を進めます。	5億5千万円
処理場再整備	浄水管理センターの躯体構造物について、改修による活用可能性を評価するとともに、再整備に係る基本構想を策定し、計画的に工事等を進めていきます。	53億円

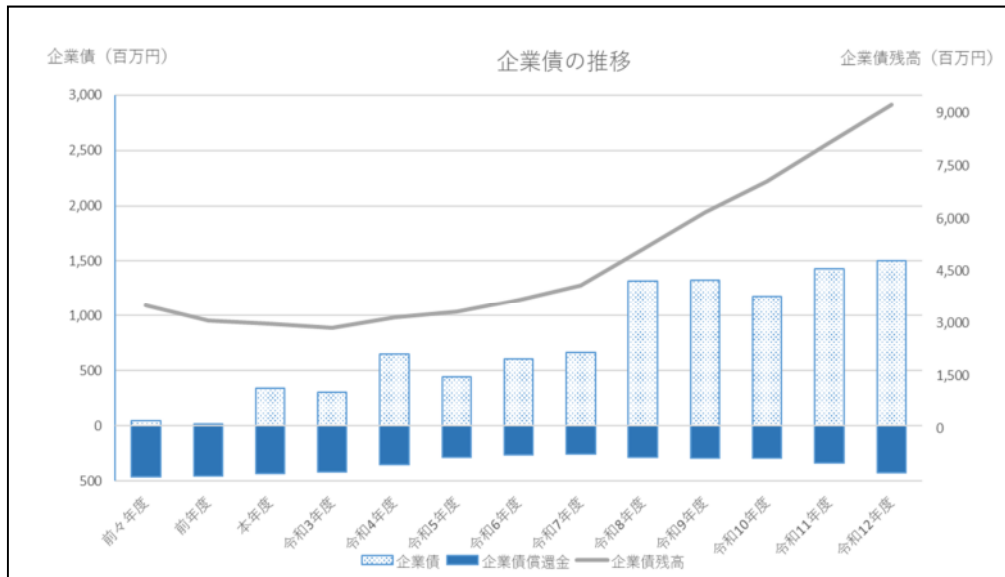
今後使用料改定をする場合は・・・

改定率（金額）や改定時期などの具体的な事項については改めて返子市下水道事業運営審議会に諮るとともに、市民の皆様へ下水道事業の経営状況について丁寧に説明し、理解をいただきながら進めていきます

財源について P20,23

これらの事業を計画どおり進めるためには、優先度を明確にし、**コストの最小化**や**投資の平準化**を図るとともに、**適正な財源確保**に努める必要があります。

今後も安定的にサービスを提供するため、使用料の改定が**赤字脱却に向けての最重要課題**となっています。また、特定財源については、活用可能な**国や県の補助金**を積極的に活用します。さらに、**企業債**についても、残高を勘案しながら適正に発行していきます。



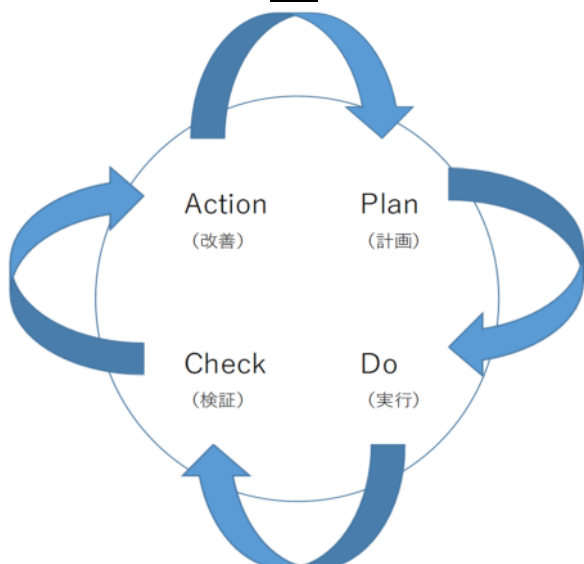
投資・財政計画での企業債の借入、償還状況及び残高

組織と人材について P20

下水道事業の**適正な運営**や**サービス水準の維持**のため、事業量に見合った組織体制とする必要があります。将来増加が見込まれることから、**適正な職員の配置が必要**になるため、任用形態を含め、工夫が必要となります。



見直しについて P27



本経営戦略は、今後**3～5年**を目途に、また、使用料改定時など**計画前提条件の激変時**には見直しを行います。

検証においては、PDCAサイクルにより**経営状況を把握し、経営の健全化及び効率化**に取り組みます。